

写真管理基準

平成31(2019)年版

新旧対照表

栃木県県土整備部

現行（平成25年版）

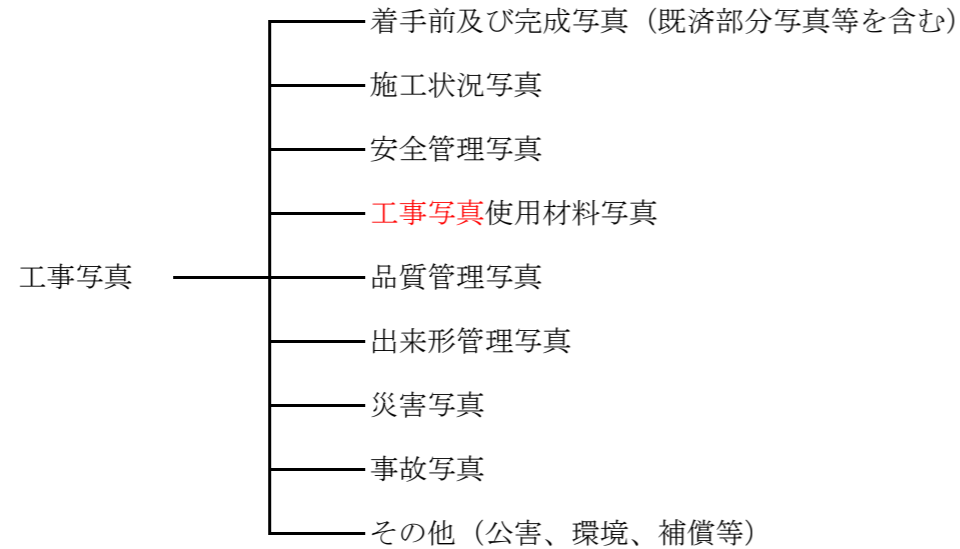
写真管理基準（案）

（適用範囲）

1. この写真管理基準は、土木工事施工管理基準7に定める土木工事の工事写真（電子媒体によるものを含む）の撮影に適用する。

（工事写真の分類）

2. 工事写真は次のように分類する。



（工事写真の撮影基準）

3. 工事写真の撮影は以下の要領で行う。

(1) 撮影頻度

工事写真の撮影頻度は別紙撮影箇所一覧表に示すものとする。

(2) 撮影方法

写真撮影にあたっては、次の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- ① 工事名
- ② 工種等
- ③ 測点（位置）
- ④ 設計寸法
- ⑤ 実測寸法
- ⑥ 略図

なお、小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。

また、特殊な場合で監督員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

改定（平成31(2019)年版）

写真管理基準（案）

1. 総則

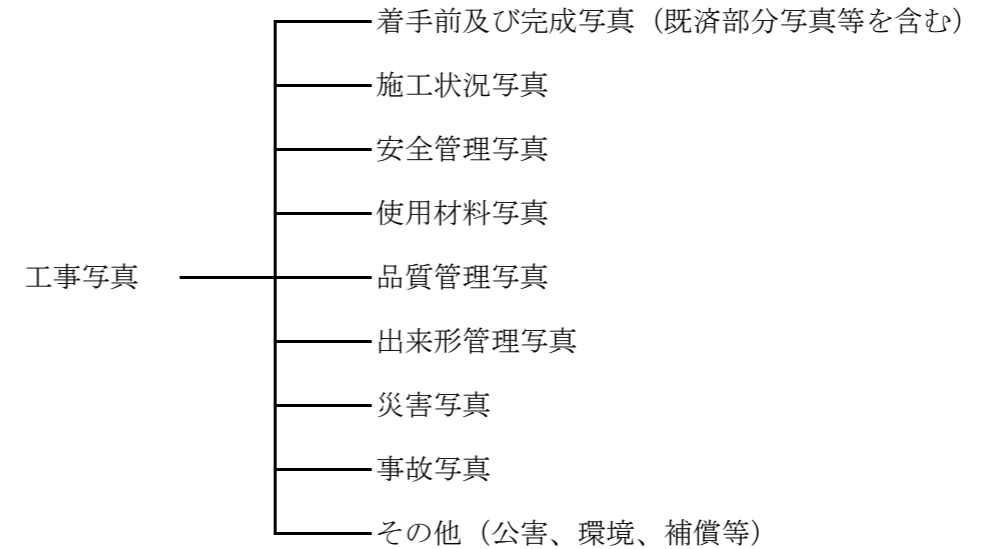
1-1 適用範囲

この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める土木工事の工事写真による管理（デジタルカメラを使用した撮影～提出）に適用する。

なお、フィルムカメラを使用した撮影～提出とする場合は、別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準（案）」による。

1-2 工事写真の分類

工事写真は以下のように分類する。



2. 撮影

2-1 撮影頻度

工事写真は、撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。

2-2 撮影方法

写真撮影にあたっては、以下の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- ① 工事名
- ② 工種等
- ③ 測点（位置）
- ④ 設計寸法
- ⑤ 実測寸法
- ⑥ 略図

小黒板の判読が困難となる場合は、「デジタル写真管理情報基準」に規定する写真情報（写真管理項目-施工管理値）に必要事項を記入し、整理する。

また、特殊な場合で監督職員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

※手持ち黒板を使用する場合は、施工計画書に明記すること。

現行（平成25年版）

改定（平成31(2019)年版）

（写真の省略）

4. 工事写真は次の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を細別ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) 監督員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略するものとする。

（写真の色彩）

5. 写真はカラーとする。

（写真の大きさ）

6. 写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。ただし、次の場合は別の大きさとすることができる。

- (1) 着手前、完成写真等はキャビネ版又はパノラマ写真（つなぎ写真可）とすることができる。
- (2) 監督員が指示するものは、その指示した大きさとする。

（工事写真帳の大きさ）

7. 工事写真帳は、4切版のフリーアルバム又はA4版とする。

（工事写真の提出部数及び形式）

8. 工事写真の提出部数及び形式は次によるものとする。

- (1) 工事写真として、工事完成時に1部提出する。
- (2) 工事写真の提出形式は、「電子納品運用に関するガイドライン（案）」に基づいて作成した電子データを、電子媒体で提出する。

（工事写真の整理方法）

9. 工事写真帳の整理については、工種毎に別紙撮影箇所一覧表の整理条件に示すものを標準とする。

なお、整理条件とは受注者が撮影頻度に基づき撮影した工事写真のうち、工事写真帳として貼付整理し提出する枚数を示したものである。

また、工事写真の原本を電子媒体で提出する場合は、「デジタル写真管理情報基準（案）国土交通省」に基づき整理し提出するものとする。この場合、工事写真帳の提出は不要とする。

（留意事項等）

1 1. 別紙撮影箇所一覧表の適用について、次の事項を留意するものとする。

- (1) 撮影項目、撮影頻度等が工事内容に合致しない場合は、監督員の指示により追加、削減するものとする。
- (2) 施工状況等の写真については、ビデオ等の活用ができるものとする。

2-3 情報化施工及び3次元データによる施工管理

「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）」、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

また、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

2-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略する。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略する。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略する。
- (3) 監督職員または現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略する。臨場時の状況写真は不要。

2-5 写真の編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。ただし、『デジタル工事写真の黒板情報電子化について』（平成29年1月30日付け、国技建管第10号）に基づく黒板情報の電子的記入は、これに当たらない。

2-6 撮影の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 有効画素数は黒板の文字が判読できることを指標とする。縦横比は3：4程度とする。

（100万画素程度～300万画素程度＝1,200×900程度～2,000×1,500程度）

2-7 撮影の留意事項

撮影箇所一覧表の適用について、以下を留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削除するものとする。
- (2) 施工状況等の写真については、ビデオ等の活用ができるものとする。
- (3) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など）を参考図として作成する。
- (5) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督職員と写真管理項目を協議のうえ取り扱いを定めるものとする。

3. 整理提出

撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子媒体に格納し、監督職員に提出するものとする。

写真ファイルの整理及び電子媒体への格納方法（各種仕様）は「デジタル写真管理情報基準」に基づくものとする。

なお、電子媒体で提出しない場合は、別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準（案）」による。

| 現行（平成25年版） | 改定（平成31(2019)年版） |
|---|---|
| <p>(3) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。</p> <p>(4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図等をアルバムに添付する。</p> <p>(5) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については、監督員と写真管理項目を協議のうえ取り扱いを定めるものとする。</p> <p>（その他）</p> <p>12. 用語の定義</p> <p>(1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所での仕様が確認出来る箇所をいう。</p> <p>(2) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。</p> <p>(3) 整理条件の不要とは、原本は提出するが、工事写真帳として貼付整理し提出する必要がないことをいう。</p> | <p>4. その他</p> <p>撮影箇所一覧表の整理条件の用語の定義</p> <p>(1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所での仕様が確認できる箇所をいう。</p> <p>(2) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。</p> <p>(3) 不要とは、デジタル写真管理情報基準の写真管理項目にある「提出頻度写真」に該当しないことをいう。</p> |

別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準（案）」

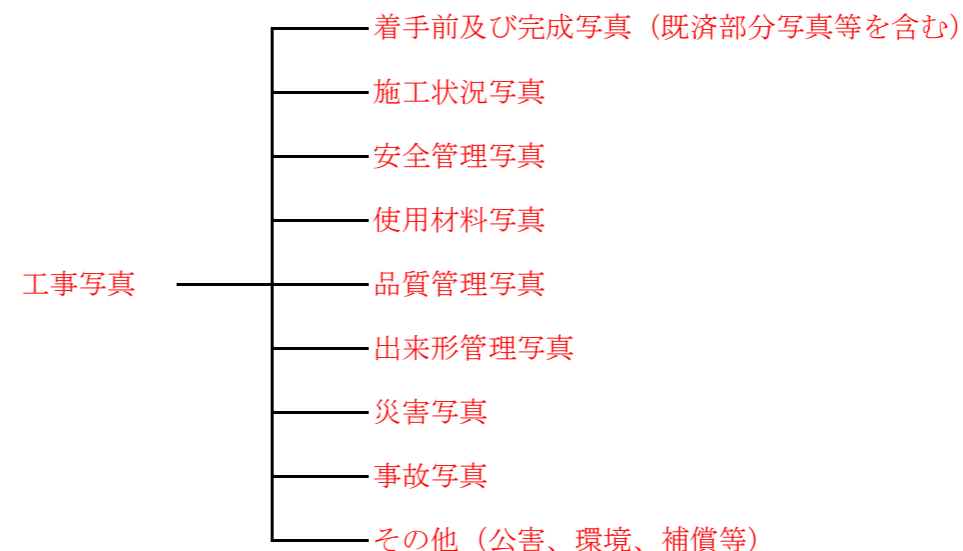
1. 総則

1-1 適用範囲

この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める土木工事の工事写真による管理（フィルムカメラを使用した撮影～提出）に適用する。

1-2 工事写真の分類

工事写真は以下のように分類する。



2. 撮影

2-1 撮影頻度

工事写真は、写真管理基準（案）の撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。

2-2 撮影方法

写真撮影にあたっては、以下の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- ① 工事名
- ② 工種等
- ③ 測点（位置）
- ④ 設計寸法
- ⑤ 実測寸法
- ⑥ 略図

小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。

また、特殊な場合で監督職員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

2-3 情報化施工及び3次元データによる施工管理

「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）」、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

現行（平成25年版）

改定（平成31(2019)年版）

また、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

2-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略する。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略する。
- (3) 監督職員または現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略するものとする。

2-5 撮影の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 写真の大きさは、サービサイズ程度とする。ただし、監督職員が指示するものは、その指示した大きさとする。

2-6 留意事項

写真管理基準（案）の撮影箇所一覧表の適用について、以下の事項を留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。
- (2) 施工状況等の写真については、ビデオ等の活用ができるものとする。
- (3) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と 同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など）を工事写真帳に添付する。
- (5) 写真管理基準（案）の撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督職員と写真管理項目を協議のうえ取扱いを定めるものとする。

3. 整理提出

工事写真として、撮影写真の原本及び工事写真帳を各1部提出するものとし、その整理方法等は以下によるものとする。

(1) 撮影写真の原本

撮影写真の原本とは、写真管理基準（案）の撮影箇所一覧表「撮影頻度」に基づいて撮影した写真のネガをいい、密着写真とともに撮影内容がわかるようにネガアルバムに整理し提出するものとする。

(2) 工事写真帳

工事写真帳は、写真管理基準（案）の撮影箇所一覧表「撮影頻度」に基づいて撮影した写真のうち、「提出頻度」に示す写真をアルバム等に整理したものをいい、工事写真帳の大きさは、4切版又はA4版とする。

4. その他

写真管理基準（案）撮影箇所一覧表の用語の定義

- (1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所でその仕様が確認できる箇所をいう。
- (2) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。
- (3) 不要とは、工事写真帳として貼付整理し提出する必要がないことをいう。

現行（平成25年版）

| 区分 | | 写真管理項目 | | | 摘要 |
|----------|----------------|-------------------|-----------------------------------|-------------|---------------------------|
| | | 撮影項目 | 撮影頻度〔時期〕 | 整理条件 | |
| 施工状況 | 工事施工中 | 全景又は代表部分の工事進捗状況 | 月1回 〔月末〕 | 不要 | |
| | | 施工中の写真 | 工種、種別毎に設計図書に従い施工していることが確認できるように適宜 | 適宜 | |
| | | | 創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜 | 不要 | 創意工夫・社会性等に関する実施状況の提出資料に添付 |
| 仮設(指定仮設) | 使用材料、仮設状況、形状寸法 | 1施工箇所1回 〔施工前後〕 | 代表箇所1枚 | | |
| 図面との不一致 | 図面と現地との不一致の写真 | 必要に応じて 〔発生時〕 | 不要 | 工事打合簿に添付する。 | |

改定（平成31（2019）年版）

| 区分 | | 写真管理項目 | | | 摘要 |
|----------|----------------|-------------------|---|-------------|---------------------------|
| | | 撮影項目 | 撮影頻度〔時期〕 | 提出頻度 | |
| 施工状況 | 工事施工中 | 全景又は代表部分の工事進捗状況 | 月1回 〔月末〕 | 不要 | |
| | | 施工中の写真 | 工種、種別毎に設計図書、施工計画書に従い施工していることが確認できるように適宜 | 適宜 | |
| | | | 創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜 | 不要 | 創意工夫・社会性等に関する実施状況の提出資料に添付 |
| 仮設(指定仮設) | 使用材料、仮設状況、形状寸法 | 1施工箇所1回 〔施工前後〕 | 代表箇所1枚 | | |
| 図面との不一致 | 図面と現地との不一致の写真 | 必要に応じて 〔発生時〕 | 不要 | 工事打合簿に添付する。 | |

ただし、「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による場合は、撮影毎に1回
〔発生時〕
ただし、「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による場合は、写真測量に使用したすべての画像(ICONフォルダに格納)

| 現行（平成25年版） | | | | | 改定（平成31（2019）年版） | | | | | |
|------------|------------------|-------------------------|----------------------------------|----|------------------|-------------------------|-----------|----------------------------------|--|--|
| | | | | | | | | | ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上型レーザースカナードを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「無人航空機搭載型レーザースカナードを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースカナードを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による場合は、計測毎に1回 〔発生時〕 | ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上型レーザースカナードを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「無人航空機搭載型レーザースカナードを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースカナードを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による場合は、代表箇所各1枚 |
| 品質管理 | | 別添 撮影箇所一覧表(品質管理)に準じて撮影 | | | 品質管理 | 別添 撮影箇所一覧表(品質管理)に準じて撮影 | | | | |
| | | 不可視部分の施工 | | 適宜 | | 不可視部分の施工 | 適宜 | | 適宜 | |
| 出来形管理写真 | | 別添 撮影箇所一覧表(出来形管理)に準じて撮影 | | | 出来形管理 | 別添 撮影箇所一覧表(出来形管理)に準じて撮影 | | | | |
| | | 不可視部分の施工 | | 適宜 | | 不可視部分の施工 | 適宜 | | 適宜 | |
| | | 出来形管理基準が定められていない | 監督員との協議事項 | | | 出来形管理基準が定められていない | 監督職員と協議事項 | | | |
| その他 | 補償関係 | 被害又は損害状況等 | その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕 | 適宜 | 補償関係外 | 補償関係 | 被害又は損害状況等 | その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕 | 適宜 | |
| | 環境対策 イメージアップ等 | 各施設設置状況 | 各種毎1回 〔設置後〕 | 適宜 | | 環境対策 イメージアップ等 | 各施設設置状況 | 各種毎1回 〔設置後〕 | 適宜 | |

現行（平成25年版）

改定（平成31(2019)年版）

| 番号 | 工種 | 写真管理項目 | | | 摘要 |
|----|-----------------------|-----------------------------|----------------------|------|----|
| | | 撮影項目 | 撮影頻度 [時期] | 整理条件 | |
| 8 | アスファルト舗装 (プラント) | 粒度 | 合材の種類毎に1回 [試験実施中] | 不要 | |
| | | アスファルト量抽出粒度分析試験 | | | |
| | | 温度測定 | | | |
| | | | | | |
| 10 | ゲースアスファルト舗装 (プラント) | 貫入試験40℃ | 合材の種類毎に1回 [試験実施中] | 不要 | |
| | | リュエル流動性試験240℃ | | | |
| | | ホイールラッキング試験 | | | |
| | | 曲げ試験 | | | |
| | | 粒度 | | | |
| | | アスファルト量抽出粒度分析試験 | | | |
| | | 温度測定 | | | |
| 11 | 路床安定処理工 | 現場密度の測定 | 路床毎に1回 [試験実施中] | 不要 | |
| | ブルーフローリング | | | | |
| | 平板載荷試験 | | | | |
| | 現場CBR試験 | | | | |
| | 含水比試験 | 降雨後又は含水比の変化が認められた場合[試験実施中] | | | |
| | たわみ量 | ブルーフローリングの不良箇所について実施[試験実施中] | | | |

| 番号 | 工種 | 写真管理項目 | | | 摘要 |
|----|-----------------------|---------------------------------|--|------|----|
| | | 撮影項目 | 撮影頻度 [時期] | 提出頻度 | |
| 8 | アスファルト舗装 (プラント) | 粒度 | 合材の種類毎に1回 [試験実施中] | 不要 | |
| | | アスファルト量抽出粒度分析試験 | | | |
| | | 温度測定 | | | |
| | | 水浸ホイールラッキング試験 | | | |
| | | ホイールラッキング試験 | | | |
| | ラベリング試験 | | | | |
| 10 | ゲースアスファルト舗装 (プラント) | 貫入試験40℃ | 合材の種類毎に1回 [試験実施中] | 不要 | |
| | | リュエル流動性試験240℃ | | | |
| | | ホイールラッキング試験 | | | |
| | | 曲げ試験 | | | |
| | | 粒度 | | | |
| | | アスファルト量抽出粒度分析試験 | | | |
| | | 温度測定 | | | |
| | ゲースアスファルト舗装 (舗設現場) | 温度測定 | 合材の種類毎に1回 [試験実施中] | 不要 | |
| 11 | 路床安定処理工 | 現場密度の測定 | 路床または施工箇所毎に1回 [試験実施中] | 不要 | |
| | | | ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締め管理要領」による場合は、写真管理を省略する | | |
| | | ブルーフローリング | 路床毎に1回 [試験実施中] | | |
| | | 平板載荷試験 | | | |
| | | 現場CBR試験 | | | |
| | | 含水比試験 | 降雨後または含水比の変化が認められた場合 [試験実施中] | | |
| | たわみ量 | ブルーフローリングの不良箇所について実施 [試験実施中] | | | |

現行（平成25年版）

| 番号 | 工種 | 写真管理項目 | | | 摘要 |
|----|---------------------|-----------|-----------------------------|------|----|
| | | 撮影項目 | 撮影頻度 [時期] | 整理条件 | |
| 12 | 表層安定処理工 (表層混合処理) | 含水比試験 | 降雨後又は含水比の変化が認められた場合[試験実施中] | 不要 | |
| | | 現場密度の測定 | 材質毎に1回 [試験実施中] | | |
| | | プルーフローリング | 工種毎に1回 [試験実施中] | | |
| | | 平板載荷試験 | 材質毎に1回 [試験実施中] | | |
| | | 現場CBR試験 | | | |
| | | たわみ量 | プルーフローリングの不良箇所について実施[試験実施中] | | |
| 15 | 補強土壁工 | 現場密度の測定 | 土質毎に1回 [試験実施中] | 不要 | |
| 18 | 河川土工(施工) | 現場密度の測定 | 土質毎に1回 [試験実施中] | 不要 | |
| | | 土の含水比試験 | 含水比に変化が認められた場合 | | |
| | | コーン指数の測定 | トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中] | | |
| 19 | 砂防土工 | 現場密度の測定 | 土質毎に1回 [試験実施中] | 不要 | |

改定（平成31(2019)年版）

| 番号 | 工種 | 写真管理項目 | | | 摘要 |
|----|---------------------|-----------|--|------|----|
| | | 撮影項目 | 撮影頻度 [時期] | 提出頻度 | |
| 12 | 表層安定処理工 (表層混合処理) | 含水比試験 | 降雨後または含水比の変化が認められた場合 [試験実施中] | 不要 | |
| | | 現場密度の測定 | 材質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する | | |
| | | プルーフローリング | 工種毎に1回 [試験実施中] | | |
| | | 平板載荷試験 | 材質毎に1回 [試験実施中] | | |
| | | 現場CBR試験 | | | |
| | | たわみ量 | プルーフローリングの不良箇所について実施 [試験実施中] | | |
| 15 | 補強土壁工 | 現場密度の測定 | 土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する | 不要 | |
| 18 | 河川土工(施工) | 現場密度の測定 | 土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する | 不要 | |
| | | 土の含水比試験 | 含水比に変化が認められた場合 | | |
| | | コーン指数の測定 | トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中] | | |
| 19 | 砂防土工 | 現場密度の測定 | 土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する | 不要 | |

現行（平成25年版）

| 番号 | 工種 | 写真管理項目 | | | 摘要 |
|----|-----------------|---------------|---------------------------------|------|---|
| | | 撮影項目 | 撮影頻度 [時期] | 整理条件 | |
| 20 | 道路土工 (施工) | 現場密度の測定 | 土質毎に1回 [試験実施中] | 不要 | |
| | | プルーフローリング | 工種毎に1回 [試験実施中] | | |
| | | 平板載荷試験 | 土質毎に1回 [試験実施中] | | |
| | | 現場CBR試験 | | | |
| | | 含水比試験 | 降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中] | | |
| | | コーン指数の測定 | トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中] | | |
| | | たわみ量 | プルーフローリングの不良箇所について実施 [試験実施中] | | |
| 24 | 吹付けコンクリート(NATM) | 塩化物総量規制 | 配合毎に1回 [試験実施中] | 不要 | 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が当該現場の供試体であることが確認できるもの |
| | | コンクリートの圧縮強度試験 | | | |
| | | スランブ試験 | 品質に変化が認められた場合 [試験実施中] | | |
| | | 空気量測定 | | | |
| | | コアによる強度試験 | 品質に異常が認められた場合 [試験実施中] | | |
| | | | | | |

改定（平成31(2019)年版）

| 番号 | 工種 | 写真管理項目 | | | 摘要 |
|----|-----------------|----------------|--|------|--|
| | | 撮影項目 | 撮影頻度 [時期] | 提出頻度 | |
| 20 | 道路土工 (施工) | 現場密度の測定 | 土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略 | 不要 | |
| | | プルーフローリング | 工種毎に1回 [試験実施中] | | |
| | | 平板載荷試験 | 土質毎に1回 [試験実施中] | | |
| | | 現場CBR試験 | | | |
| | | 含水比試験 | 降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中] | | |
| | | コーン指数の測定 | トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中] | | |
| | | たわみ量 | プルーフローリングの不良箇所について実施 [試験実施中] | | |
| 24 | 吹付けコンクリート(NATM) | 塩化物総量規制 | 配合毎に1回 [試験実施中] | 不要 | 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの |
| | | コンクリートの圧縮強度試験 | | | |
| | | スランブ試験 | 品質に変化が認められた場合 [試験実施中] | | |
| | | 空気量測定 | | | |
| | | コアによる強度試験 | 品質に異常が認められた場合 [試験実施中] | | |
| | | 吹付けコンクリートの初期強度 | トンネル施工長40mごとに1回 | | |

| 現行（平成25年版） | | | | | 改定（平成31（2019）年版） | | | | | | | | |
|------------|-------------------------|-----------------|----------------------|------|------------------|----|-------------------------|-------------------------|----------------------|----------------------|----|----|--------|
| 番号 | 工種 | 写真管理項目 | | | 摘要 | 番号 | 工種 | 写真管理項目 | | | 摘要 | | |
| | | 撮影項目 | 撮影頻度 [時期] | 整理条件 | | | | 撮影項目 | 撮影頻度 [時期] | 提出頻度 | | | |
| 28 | 排水性舗装工・透水性舗装工 (プラント) | 粒度 | 合材の種類毎に1回 [試験実施中] | 不要 | | 28 | 排水性舗装工・透水性舗装工 (プラント) | 粒度 | 合材の種類毎に1回 [試験実施中] | 不要 | | | |
| | | アスファルト量抽出粒度分析試験 | | | | | | アスファルト量抽出粒度分析試験 | | | | | |
| | | 温度測定 | | | | | | 温度測定 | | | | | |
| | | | | | | | | 水浸ホイールラッキング試験 | | | | | |
| | | | | | | | | ホイールラッキング試験 | | | | | |
| | | ラベリング試験 | | | | | | | | | | | |
| | | カンタプロ試験 | | | | | | | | | | | |
| | 排水性舗装工・透水性舗装工 (舗設現場) | 温度測定 | 合材の種類毎に1回 [試験実施中] | 不要 | | | | 排水性舗装工・透水性舗装工 (舗設現場) | 温度測定 | 合材の種類毎に1回 [試験実施中] | | 不要 | 現場透水試験 |
| 現場密度の測定 | | 現場透水試験 | | | | | | | | | | | |
| 外観検査 | | 現場密度の測定 | | | | | | | | | | | |
| | | 外観検査 | | | | | | | | | | | |
| 29 | プラント再生舗装工(プラント) | 粒度 | 合材の種類毎に1回 [試験実施中] | 不要 | | 29 | プラント再生舗装工 (プラント) | 粒度 | 合材の種類毎に1回 [試験実施中] | 不要 | | | |
| | | 再生アスファルト量 | | | | | | 再生アスファルト量 | | | | | |
| | | | | | | | | 水浸ホイールラッキング試験 | | | | | |
| | | | | | | | | ホイールラッキング試験 | | | | | |
| | | | | | | | | ラベリング試験 | | | | | |
| | プラント再生舗装工(舗設現場) | 外観検査 | 合材の種類毎に1回 [試験実施中] | 不要 | | | | プラント再生舗装工(舗設現場) | 外観検査 | 合材の種類毎に1回 [試験実施中] | | 不要 | 温度測定 |
| | | 温度測定 | | | | | | 温度測定 | | | | | |
| | | 現場密度の測定 | | | | | | 現場密度の測定 | | | | | |

現行（平成25年版）

改定（平成31(2019)年版）

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第1編 共通編】

| 編 | 章 | 節 | 条 | 枝番 | 工 種 | 写真管理項目 | | | 摘 要 |
|----------|---------|--------------|---|----|-----|--------|------------------------|-------------|-----|
| | | | | | | 撮影項目 | 撮影頻度[時期] | 整理条件 | |
| 1 共通編 | 2 土工 | 3 河川・砂防土工 | 2 | | 掘削工 | 土質等の判別 | 地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | | 法長 | 200m又は1施工箇所1回 〔掘削後〕 | | |

撮影箇所一覧表(出来形管理)

【第1編 共通編】

| 編 | 章 | 節 | 条 | 枝番 | 工 種 | 写真管理項目 | | | 摘 要 |
|----------|---------|--------------|---|----|-----|---------------------|------------------------|-------------|--|
| | | | | | | 撮影項目 | 撮影頻度[時期] | 提出頻度 | |
| 1 共通編 | 2 土工 | 3 河川・砂防土工 | 2 | | 掘削工 | 土質等の判別 | 地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕 | 代表箇所 各1枚 | 1-2-3-2 |
| | | | | | | 法長 ※右のいずれかで撮影する。 | 200m又は1施工箇所1回 〔掘削後〕 | | |
| | | | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが必要な場合のみ)がわかるように撮影 |
| | | | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「無人航空機搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による場合は1工事に1回〔掘削後〕 「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。 |

現行（平成25年版）

改定（平成31(2019)年版）

| 現行（平成25年版） | | | | 改定（平成31(2019)年版） | | | | | | | | | |
|------------|---------|--------------|---|------------------|--------------------------------|----------|---------|--------------|---|------------------------------|---|--|--|
| 1 共通編 | 2 土工 | 3 河川・砂防土工 | 3 | 盛土工 | 代表箇所 各1枚 | 1 共通編 | 2 土工 | 3 河川・砂防土工 | 3 | 盛土工 | 代表箇所 各1枚 | 1-2-3-3 | |
| | | | | 巻出し厚 | 200mに1回 〔巻出し時〕 | | | | | 巻出し厚 | 200mに1回 〔巻出し時〕 | | |
| | | | | 締固め状況 | 転圧機械又は地質が変わる 毎に1回 〔締固め時〕 | | | | | 締固め状況 | 転圧機械又は地質が変わる 毎に1回 〔締固め時〕 | | |
| | | | | 法長 幅 | 200m又は1施工箇所 〔施工後〕 | | | | | 法長 幅 ※右のいずれか で撮影する。 | 200m又は1施工箇所 〔施工後〕 | | |
| | | | | | | | | | | | 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による場合は1工事に1回 〔施工後〕 | | |
| | | | | | | | | | | | 「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。 | | |
| | | | | | | | | | | | | ・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが 必要な場合のみ)がわかるように撮影 | |

現行（平成25年版）

改定（平成31(2019)年版）

| | | | | | | | | |
|----------|---------|-----------|---|-----|--------|-----------------------------|-------------|--|
| 1 共通編 | 2 土工 | 4 道路土工 | 2 | 掘削工 | 土質等の判別 | 地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | 法長 | 200m又は1施工箇所 に1回 〔掘削後〕 | | |

| | | | | | | | | |
|----------|---------|-----------|---|-----|---|-----------------------------|-------------|---|
| 1 共通編 | 2 土工 | 4 道路土工 | 2 | 掘削工 | 土質等の判別 | 地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕 | 代表箇所 各1枚 | 1-2-4-2 |
| | | | | | 法長 ※右のいずれか で撮影する。 | 200m又は1施工箇所 に1回 〔掘削後〕 | | |
| | | | | | <p>「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「無人航空機搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による場合は1工事に1回〔掘削後〕</p> | | | <ul style="list-style-type: none"> • 出来映えの撮影 • TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが 必要な場合のみ)がわかるように撮影 |
| | | | | | <p>「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。</p> | | | |

| 現行（平成25年版） | | | | | | | | | | 改定（平成31（2019）年版） | | | | | | | | | |
|------------------|-----------|----------------|--------|--------------------------|------------------------|---|-------------|--|--|------------------|---------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 1 共通編 | 2 土工 | 4 道路土工 | 3 4 | 路体盛土工 路床盛土工 | 巻出し厚 | 200mに1回 〔巻出し時〕 | 代表箇所 各1枚 | | | | 1-2-4-3 | | | | | | | | |
| | | | | | 締固め状況 | 転圧機械又は地質が変わる 毎に1回 〔締固め時〕 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 法長 幅 | 200m又は1施工箇所 〔施工後〕 | | | | | | | | | | | | | |
| 3 土木工事 共通編 | 2 一般施工 | 3 共通の 工種 | 11 | 2 路側防護柵工(ガードケー ブル) | ※基礎幅 ※基礎高さ ※基礎延長 | 1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある 場合) 〔施工後〕 | 不要 | | | | 3-2-3-8 | | | | | | | | |
| | | | | | ケーブル取付高 | 1施工箇所に1回 〔施工後〕 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 根入長 | 全数量 〔掘削後〕 | | | | | | | | | | | | | |
| 3 土木工事 共通編 | 2 一般施工 | 4 基礎工 | 6 | 深礎工 | 偏心量 数量 | 全数量 〔施工後〕 | 代表箇所 各1枚 | | | | 3-2-4-6 | | | | | | | | |
| | | | | | ライナープレート 設置状況 | 1施工箇所に1回 〔掘削後〕 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 土質 | 土質が変わる毎に1回 〔掘削中〕 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 鉄筋組立状況 | 全数量 〔組立後〕 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 根入長 | 全数量 〔掘削後〕 | | | | | | | | | | | | | |
| 3 土木工事 共通編 | 2 一般施工 | 4 基礎工 | 6 | 深礎工 | ※基礎幅 ※基礎高さ ※基礎延長 | 1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある 場合) 〔施工後〕 | 不要 | | | | 3-2-3-8 | | | | | | | | |
| | | | | | ケーブル取付高 | 1施工箇所に1回 〔施工後〕 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 根入長 | 全数量 〔掘削後〕 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 偏心量 数量、基礎径 | 全数量 〔施工後〕 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | ライナープレート 設置状況 | 1施工箇所に1回 〔掘削後〕 | | | | | | | | | | | | | |
| 3 土木工事 共通編 | 2 一般施工 | 4 基礎工 | 6 | 深礎工 | 土質 | 土質が変わる毎に1回 〔掘削中〕 | 代表箇所 各1枚 | | | | 3-2-4-6 | | | | | | | | |
| | | | | | 鉄筋組立状況 | 全数量 〔組立後〕 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 根入長 | 全数量 〔掘削後〕 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 偏心量 数量、基礎径 | 全数量 〔施工後〕 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | ライナープレート 設置状況 | 1施工箇所に1回 〔掘削後〕 | | | | | | | | | | | | | |

現行（平成25年版）

改定（平成31(2019)年版）

| 現行（平成25年版） | | | | | | | | | | 改定（平成31(2019)年版） | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|-----------------------|----------------------------|---|---|------------------|---------------|---|-------------|--|------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---------|
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 7 | 1 | アスファルト舗装工(下層路盤工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔整正後〕 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 7 | 1 | アスファルト舗装工(下層路盤工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | | | | | | | | | | | | | 3-2-6-7 |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | | | | | | | | | | | | | |

現行（平成25年版）

改定（平成31(2019)年版）

| 現行（平成25年版） | | | | | 改定（平成31(2019)年版） | | | | | |
|--------------------------|-----------------------|----------------------------|---|---|-----------------------------|--|---------------------|-------------|--|---------|
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 7 | 2 | アスファルト舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | | 3-2-6-7 |
| | | | | | 改正状況 | 各層毎400mに1回 〔修正後〕 | | | | |
| | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔修正後〕 | | | | |
| | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔修正後〕 | | | | |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 7 | 2 | アスファルト舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | | 3-2-6-7 |
| | | | | | 改正状況 | 各層毎400mに1回 〔修正後〕 | | | | |
| | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕 | | | | |
| | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕 | | | | |

現行（平成25年版）

改定（平成31(2019)年版）

| | | | | | | | | | |
|--------------|-----------|------------|---|---|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------|-------------|--|
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 7 | 3 | アスファルト舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回〔整正後〕 | | | |
| | | | | | 厚さ | 1,000㎡に1回〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 | | | |
| | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回〔整正後〕 | | | |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 7 | 4 | アスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回〔整正後〕 | | | |
| | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回〔整正後〕 | | | |

| | | | | | | | | | |
|--------------|-----------|------------|---|---|-----------------------------------|---|-----------------|-------------|---------|
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 7 | 3 | アスファルト舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-7 |
| | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回〔整正後〕 | | | |
| | | | | | 厚さ | 1,000㎡に1回〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | | |
| | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | | |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 7 | 4 | アスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-7 |
| | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回〔整正後〕 | | | |
| | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | | |

現行（平成25年版）

改定（平成31(2019)年版）

| | | | | | | | | | |
|--------------|-----------|------------|---|---|--------------------|---------------------|---------------------|-------------|--|
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 7 | 5 | アスファルト舗装工(基層工) | 整正状況 | 400mに1回 〔整正後〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | タックコート、 プライムコート | 各層毎に1回 〔散布時〕 | | | |
| | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 | | | |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 8 | 1 | 半たわみ性舗装工(下層路盤工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | | |
| | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔整正後〕 | | | |
| | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 | | | |

| | | | | | | | | | |
|--------------|-----------|------------|---|---|--------------------|---|---------------------|-------------|---------|
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 7 | 5 | アスファルト舗装工(基層工) | 整正状況 | 400mに1回 〔整正後〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-7 |
| | | | | | タックコート、 プライムコート | 各層毎に1回 〔散布時〕 | | | |
| | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | | |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 8 | 1 | 半たわみ性舗装工(下層路盤工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-8 |
| | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | | |
| | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | | |
| | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | | |

| 現行（平成25年版） | | | | | | | 改定（平成31(2019)年版） | | | | | | |
|--------------------------|-----------------------|----------------------------|---|---|----------------------------|---------------|---|-------------|--|--|--|--|---------|
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 8 | 2 | 半たわみ性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | | | | | |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | | | | | |
| | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔整正後〕 | | | | | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 | | | | | | |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 8 | 2 | 半たわみ性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | | | | | 3-2-6-8 |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | | | | | |
| | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | | | | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | | | | | |

現行（平成25年版）

改定（平成31(2019)年版）

| | | | | | | | | | |
|--------------|-----------|------------|---|---|----------------------------------|------------------------------------|---------------------|-------------|--|
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 8 | 3 | 半たわみ性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | 修正状況 | 各層毎400mに1回〔修正後〕 | | | |
| | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 | | | |
| | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回〔修正後〕 | | | |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 8 | 4 | 半たわみ性舗装工(加熱アスファルト安定処理工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | 修正状況 | 各層毎400mに1回〔修正後〕 | | | |
| | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回〔修正後〕 | | | |

| | | | | | | | | | |
|--------------|-----------|------------|---|---|----------------------------------|--|---------------------|-------------|---------|
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 8 | 3 | 半たわみ性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-8 |
| | | | | | 修正状況 | 各層毎400mに1回 〔修正後〕 | | | |
| | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕 | | | |
| | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕 | | | |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 8 | 4 | 半たわみ性舗装工(加熱アスファルト安定処理工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-8 |
| | | | | | 修正状況 | 各層毎400mに1回 〔修正後〕 | | | |
| | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕 | | | |

現行（平成25年版）

改定（平成31(2019)年版）

| | | | | | | | | |
|--------------|-----------|------------|---|---|---------------|---------------|---------------------|-------------|
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 9 | 1 | 排水性舗装工(下層路盤工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | |
| | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔整正後〕 | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 | |

| | | | | | | | | | |
|--------------|-----------|------------|---|---|---------------|---------------|---|-------------|---------|
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 9 | 1 | 排水性舗装工(下層路盤工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-9 |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | |

| 現行（平成25年版） | | | | | | | 改定（平成31(2019)年版） | | | | | | |
|--------------------------|-----------------------|----------------------------|---|---|--------------------------|---------------|---|-------------|--|--|--|--|---------|
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 9 | 2 | 排水性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | | | | | |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | | | | | |
| | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔整正後〕 | | | | | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 | | | | | | |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 9 | 2 | 排水性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | | | | | 3-2-6-9 |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | | | | | |
| | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノンプリズム 方式)を用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」により 「厚さあるいは標高較差」を管 理する場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕 | | | | | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノンプリズム 方式)を用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | | | | | |

現行（平成25年版）

改定（平成31(2019)年版）

| | | | | | | | | | |
|--------------|-----------|------------|---|---|--------------------------------|---------------|--|-------------|--|
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 9 | 3 | 排水性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 | | |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 9 | 4 | 排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 | | |

| | | | | | | | | | |
|--------------|-----------|------------|---|---|--------------------------------|---------------|--|-------------|---------|
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 9 | 3 | 排水性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-9 |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要 ただし、「TS等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノンプリズム 方式)を用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」により 「厚さあるいは標高較差」を管 理する場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノンプリズム 方式)を用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 9 | 4 | 排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-9 |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノンプリズム 方式)を用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | |

現行（平成25年版）

改定（平成31(2019)年版）

| | | | | | | | | | |
|--------------------------|-----------------------|----------------------------|----|---|--------------------------------|---------------|---------------------|-------------|--|
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 10 | 1 | 透水性舗装工 路盤工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 | | |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 11 | 1 | グーラスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 | | |
| | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--------------------------|-----------------------|----------------------------|----|---|--------------------------------|---------------|---|-------------|----------|
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 10 | 1 | 透水性舗装工 路盤工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-10 |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノンプリズム 方式)を用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」により 「厚さあるいは標高較差」を管 理する場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノンプリズム 方式)を用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 11 | 1 | グーラスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-11 |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノンプリズム 方式)を用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | |
| | | | | | | | | | |

現行（平成25年版）

改定（平成31(2019)年版）

| 現行（平成25年版） | | | | | 改定（平成31(2019)年版） | | | | | |
|--------------------------|-----------------------|----------------------------|----|---|------------------|---|---------------------|-------------|--|----------|
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 12 | 1 | コンクリート舗装工(下層路盤工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | | |
| | | | | | 修正状況 | 各層毎400mに1回 〔修正後〕 | | | | |
| | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔修正後〕 | | | | |
| | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔修正後〕 | | | | |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 12 | 1 | コンクリート舗装工(下層路盤工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | | 3-2-6-12 |
| | | | | | 修正状況 | 各層毎400mに1回 〔修正後〕 | | | | |
| | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕 | | | | |
| | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕 | | | | |

現行（平成25年版）

改定（平成31(2019)年版）

| | | | | | | | | |
|--------------------------|-----------------------|----------------------------|----|---|------------------------|---------------|---------------------|-------------|
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 12 | 2 | コンクリート舗装工(粒度調整 路盤工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | |
| | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔整正後〕 | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 | |

| | | | | | | | | | |
|--------------------------|-----------------------|----------------------------|----|---|------------------------|---------------|---|-------------|----------|
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 12 | 2 | コンクリート舗装工(粒度調整 路盤工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-12 |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノンプリズム 方式)を用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」により 「厚さあるいは標高較差」を管 理する場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノンプリズム 方式)を用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | |

現行（平成25年版）

改定（平成31(2019)年版）

| | | | | | | | | | |
|--------------|-----------|------------|----|---|-----------------------------|---|---------------------|-------------|--|
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 12 | 3 | コンクリート舗装工(セメント(石灰・瀝青)安定処理工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | | |
| | | | | | 厚さ | 1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要 | | | |
| | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 | | | |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 12 | 4 | コンクリート舗装工(アスファルト中間層) | 整正状況 | 400mに1回 〔整正後〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | タックコート、 プライムコート | 各層毎に1回 〔散布時〕 | | | |
| | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 | | | |

| | | | | | | | | | |
|--------------|-----------|------------|----|---|-----------------------------|---|---------------------|-------------|----------|
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 12 | 3 | コンクリート舗装工(セメント(石灰・瀝青)安定処理工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-12 |
| | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | | |
| | | | | | 厚さ | 1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要 ただし、「TS等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノンプリズ ム方式)を用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」により 「厚さあるいは標高較差」を管 理する場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕 | | | |
| | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノンプリズ ム方式)を用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | | |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 12 | 4 | コンクリート舗装工(アスファルト中間層) | 整正状況 | 400mに1回 〔整正後〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-12 |
| | | | | | タックコート、 プライムコート | 各層毎に1回 〔散布時〕 | | | |
| | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノンプリズ ム方式)を用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | | |

現行（平成25年版）

改定（平成31(2019)年版）

| | | | | | | | | | |
|--------------|-----------|------------|----|---|--------------------------------|-----------------------|---------------------|-------------|--|
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 12 | 5 | コンクリート舗装工(コンクリート舗装版工) | 石粉、プライムコート | 各層毎に1回 〔散布時〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | スリップバー、タイバー寸法、位置 | 80mに1回 〔据付後〕 | | | |
| | | | | | 鉄網寸法位置 | 80mに1回 〔据付後〕 | | | |
| | | | | | 平坦性 | 1工事に1回〔実施中〕 | | | |
| | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 | | | |
| 目地段差 | 1工事に1回 | | | | | | | | |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 12 | 6 | コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) 下層路盤工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | | |
| | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔整正後〕 | | | |
| | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 | | | |

| | | | | | | | | | |
|--------------|-----------|------------|----|---|--------------------------------|---|---------------------|-------------|----------|
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 12 | 5 | コンクリート舗装工(コンクリート舗装版工) | 石粉、プライムコート | 各層毎に1回 〔散布時〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-12 |
| | | | | | スリップバー、タイバー寸法、位置 | 80mに1回 〔据付後〕 | | | |
| | | | | | 鉄網寸法位置 | 80mに1回 〔据付後〕 | | | |
| | | | | | 平坦性 | 1工事に1回〔実施中〕 | | | |
| | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | | |
| 目地段差 | 1工事に1回 | | | | | | | | |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 12 | 6 | コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) 下層路盤工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-12 |
| | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | | |
| | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | | |
| | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | | |

現行（平成25年版）

改定（平成31(2019)年版）

| | | | | | | | | | |
|--------------------------|-----------------------|----------------------------|----|---|---|--------------------|---|-------------|--|
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 12 | 8 | コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 厚さ | 1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 | | |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 12 | 9 | コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) アスファルト中間層 | 整正状況 | 400mに1回 〔整正後〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | | タックコート、 プライムコート | 各層毎に1回 〔散布時〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 | | |

| | | | | | | | | | |
|--------------------------|-----------------------|----------------------------|----|---|---|--------------------|---|-------------|----------|
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 12 | 8 | コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-12 |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 厚さ | 1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 12 | 9 | コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) アスファルト中間層 | 整正状況 | 400mに1回 〔整正後〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-12 |
| | | | | | | タックコート、 プライムコート | 各層毎に1回 〔散布時〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕 | | |

現行（平成25年版）

改定（平成31(2019)年版）

| | | | | | | | | | |
|--------------------------|-----------------------|----------------------------|----|----|--------------------------|-----------------------|------------------|-------------|--|
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 12 | 10 | コンクリート舗装工(転圧コン リート版工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 | | | |
| | | | | | 平坦性 | 1工事に1回 〔実施中〕 | | | |

| | | | | | | | | | |
|--------------------------|-----------------------|----------------------------|----|----|--|---|------------------|-------------|----------|
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 12 | 10 | コンクリート舗装工(転圧コンク リート版工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-12 |
| | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「TS等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノンプリズ ム方式)を用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」により 「厚さあるいは標高較差」を管 理する場合は各層毎1工事に 1回 〔修正後〕 | | | |
| | | | | | 平坦性 | 1工事に1回 〔実施中〕 | | | |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 12 | 11 | コンクリート舗装工(連続鉄筋コ ンクリート舗装工) | 石粉、 プライムコート | 各層毎に1回 〔散布時〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-12 |
| | | | | | 鉄筋寸法、位置 | 80mに1回 〔据付後〕 | | | |
| | | | | | 横膨張目地部 ダウエルバー 寸法、位置 | 1施工箇所に1回 〔据付後〕 | | | |
| | | | | | 縦そり突合せ 目地部・縦そりダ ミー目地部タイ バー寸法、位置 | 80mに1回 〔据付後〕 | | | |
| | | | | | 平坦性 | 1工事に1回〔実施中〕 | | | |
| | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム工法の場合 は打設前後〕 ただし、「TS等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノンプリズ ム方式)を用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」により 「厚さあるいは標高較差」を管 理する場合は各層毎1工事に 1回 〔修正後〕 | | | |
| 目地段差 | 1工事に1回 | | | | | | | | |

| 現行（平成25年版） | | | | | | | | | | 改定（平成31(2019)年版） | | | | | | | | | | |
|--------------------------|-----------------------|----------------------------|----|---|----------------------------------|---------------|-----------------------------------|-------------|--|------------------|--------------------------|-----------------------|----------------------------|----|---|----------------------------------|---------------|--|-------------|----------|
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 13 | 1 | 薄層カラー舗装工(下層路盤工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | | | 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 13 | 1 | 薄層カラー舗装工(下層路盤工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-13 |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回〔整正後〕 | | | | | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回〔整正後〕 | | | | | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回〔整正後〕 | | | | | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕 | | |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 13 | 2 | 薄層カラー舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | | | 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 13 | 2 | 薄層カラー舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-13 |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回〔整正後〕 | | | | | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回〔整正後〕 | | | | | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回〔整正後〕 | | | | | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕 | | |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 13 | 3 | 薄層カラー舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | | | 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 13 | 3 | 薄層カラー舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-13 |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回〔整正後〕 | | | | | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 厚さ | 1,000㎡に1回〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 | | | | | | | | | | 厚さ | 1,000㎡に1回〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回〔整正後〕 | | | | | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕 | | |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 13 | 4 | 薄層カラー舗装工(加熱アスファルト安定処理工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | | | 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 13 | 4 | 薄層カラー舗装工(加熱アスファルト安定処理工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-13 |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回〔整正後〕 | | | | | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回〔整正後〕 | | | | | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕 | | |

現行（平成25年版）

改定（平成31(2019)年版）

| | | | | | | | | | |
|--------------|-----------|------------|----|---|---------------------------------|--------------------|--|-------------|--|
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 13 | 5 | 薄層カラー舗装工(基層工) | 修正状況 | 400mに1回 〔修正後〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | | タックコート、 プライムコート | 各層毎に1回 〔散布時〕 | | |
| | | | | | | 厚さ | 1,000㎡に1回 〔修正後〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔修正後〕 | | |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 14 | 1 | ブロック舗装工(下層路盤工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | | 修正状況 | 各層毎400mに1回〔修正後〕 | | |
| | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回〔修正後〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回〔修正後〕 | | |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 14 | 2 | ブロック舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | | 修正状況 | 各層毎400mに1回〔修正後〕 | | |
| | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回〔修正後〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回〔修正後〕 | | |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 14 | 3 | ブロック舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | | 修正状況 | 各層毎400mに1回〔修正後〕 | | |
| | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回〔修正後〕 | | |

| | | | | | | | | | |
|--------------|-----------|------------|----|---|---------------------------------|--------------------|--|-------------|----------|
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 13 | 5 | 薄層カラー舗装工(基層工) | 修正状況 | 400mに1回 〔修正後〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-13 |
| | | | | | | タックコート、 プライムコート | 各層毎に1回 〔散布時〕 | | |
| | | | | | | 厚さ | 1,000㎡に1回 〔修正後〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」による場合は各 層毎1工事に1回〔修正後〕 | | |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 14 | 1 | ブロック舗装工(下層路盤工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-14 |
| | | | | | | 修正状況 | 各層毎400mに1回 〔修正後〕 | | |
| | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔修正後〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」による場合は各 層毎1工事に1回〔修正後〕 | | |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 14 | 2 | ブロック舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-14 |
| | | | | | | 修正状況 | 各層毎400mに1回 〔修正後〕 | | |
| | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔修正後〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」による場合は各 層毎1工事に1回〔修正後〕 | | |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 14 | 3 | ブロック舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工 | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-14 |
| | | | | | | 修正状況 | 各層毎400mに1回 〔修正後〕 | | |
| | | | | | | 厚さ | 各層毎200mに1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」による場合は各 層毎1工事に1回〔修正後〕 | | |

現行（平成25年版）

| | | | | | | | | | |
|--------------------------|-----------------------|----------------------------|----|---|--|-------------------|----------------------------|-------------|--|
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 14 | 4 | ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 | | |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 15 | | 路面切削工 | 幅 厚さ | 1施工箇所 〔施工後〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 7 地 盤 改 良 工 | 7 | 8 | パーチカルドレーン工 (サンドドレーン工) (ペーパードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工) 締固め改良工 (サンドコンパクションパイル 工) | 打込長さ 施工状況 | 200㎡又は1施工箇所 〔打込み前後、施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | | 杭径 位置・間隔 | 200㎡又は1施工箇所 〔打込後〕 | | |
| | | | | | | 砂の投入量 | 全数量〔打込前後〕 | | |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 7 地 盤 改 良 工 | 9 | | 固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工) | 位置・間隔 杭径 深度 | 1施工箇所 〔打込後〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 10 仮 設 工 | 5 | 5 | 土留・仮締切工(中詰盛土) | 施工状況 | 250m又は1施工箇所 〔施工後〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 10 仮 設 工 | 22 | | 法面吹付工 | | 第3編2-3-6吹付工に準ず る | | |

改定（平成31(2019)年版）

| | | | | | | | | | |
|--------------------------|-----------------------|----------------------------|----|---|--|---------------|--|-------------|--------------------|
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 14 | 4 | ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工) | 敷均し厚さ 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-14 |
| | | | | | | 整正状況 | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | |
| | | | | | | 幅 | 各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」による場合は各 層毎1工事に1回〔整正後〕 | | |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 6 一 般 舗 装 工 | 15 | | 路面切削工 | 幅 厚さ(基準高) | 1施工箇所 〔施工後〕 ただし、「TS等光波方式を用 いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」による場合は1工 事に1回〔施工後〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-6-15 |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 7 地 盤 改 良 工 | 7 | 8 | パーチカルドレーン工 (サンドドレーン工) (ペーパードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工) 締固め改良工 (サンドコンパクションパイル 工) | 打込長さ 出来ばえ | 200㎡又は1施工箇所 〔打込み前後〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-7-7 3-2-7-8 |
| | | | | | | 杭径 位置・間隔 | 200㎡又は1施工箇所 〔打込後〕 | | |
| | | | | | | 砂の投入量 | 全数量〔打込前後〕 | | |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 7 地 盤 改 良 工 | 9 | | 固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工) | 位置・間隔 杭径 | 1施工箇所 〔打込後〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-7-9 |
| | | | | | | 深度 | 1施工箇所 〔打込前後〕 | | |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 10 仮 設 工 | 5 | 5 | 土留・仮締切工(中詰盛土) | 出来ばえ | 250m又は1施工箇所 〔施工後〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-10-5 |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 10 仮 設 工 | 22 | | 法面吹付工 | | 第3編2-14-3吹付工に準 ずる | | 3-2-10-22 |

| 現行（平成25年版） | | | | | | | 改定（平成31（2019）年版） | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|----------------------------|--|--------------|--|------------------------------|---|---------------------------------|-------------|--|--|--------------------------|----------------------------|--|--------------|--|--|---|---------------------------------|-------------|--------------------------------|
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 12 工 場 製 作 工 | 4 | | 検査路工 | 幅 高 さ | 1施工箇所 に1回 〔施工後〕 | 代表箇所 各1枚 | | | 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 12 工 場 製 作 工 | 4 | | 検査路製作工 | 原寸状況 | 1橋に1又は1 工事に1回 〔原寸時〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-12-4 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 製作状況 | 適宜 〔製作中〕 | | | |
| 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 16 浚 渫 工 | 1 | | 浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船) (グラブ船) | 運転状況 | 1施工箇所 に1回 〔施工 後〕 | 代表箇所 各1枚 | | | 3 土木 工事 共通 編 | 2 一 般 施 工 | 16 浚 渫 工 | 1 | | 浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船) (グラブ船) (バックホウ浚渫船) | 運転状況 | 1施工箇所 に1回 〔施工後〕 | 代表箇所 各1枚 | 3-2-16-1 |
| 6 河川 編 | 1 築 堤 ・ 護 岸 | 13 光 ケ ー ブ ル 配 管 工 | 3 | | 配管工 | 配管状況 | 100m又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕 | 代表箇所 各1枚 | | | 6 河川 編 | 1 築 堤 ・ 護 岸 | 13 光 ケ ー ブ ル 配 管 工 | 3 | | 配管工 | 配管状況 | 100m又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕 | 不要 | 6-1-13-3 |
| 6 河川 編 | 5 堰 | 7 固 定 堰 本 体 工 | 8 9 10 | | 堰本体工 水叩工 土砂吐工 | 厚さ 幅 高さ 延長 | 1施工箇所 に1回 〔施工 後〕 | 代表箇所 各1枚 | | | 6 河川 編 | 5 堰 | 7 固 定 堰 本 体 工 | 8 9 10 | | 堰本体工 水叩工 土砂吐工 | 厚さ 幅 高さ | 1施工箇所 に1回 〔施工後〕 | 代表箇所 各1枚 | 6-5-7-8 6-5-7-9 6-5-7-10 |
| 6 河川 編 | 5 堰 | 9 管 理 橋 橋 台 工 | 2 | | 管理橋橋台工 | 厚さ 天端幅 (橋軸方向) 敷幅 (橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長 | 1施工箇所 に1回 〔施工 後〕 | 代表箇所 各1枚 | | | 6 河川 編 | 5 堰 | 9 管 理 橋 下 部 工 | 2 | | 管理橋橋台工 | 厚さ 天端幅 (橋軸方向) 敷幅 (橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長 | 1施工箇所 に1回 〔施工後〕 | 代表箇所 各1枚 | 6-5-9-2 |
| 8 砂防 編 | 3 斜 面 対 策 | 6 地 下 水 排 除 工 | 5 | | 集水井工 | 偏心量 長さ 巻立て幅 巻立て厚さ | 1施工箇所 に1回 〔施工後〕 | 不要 | | | 8 砂防 編 | 3 斜 面 対 策 | 7 地 下 水 排 除 工 | 5 | | 集水井工 | 偏心量 長さ 巻立て幅 巻立て厚さ | 1施工箇所 に1回 〔施工後〕 | 不要 | 8-3-7-5 |
| 8 砂防 編 | 3 斜 面 対 策 | 8 抑 止 杭 工 | 6 | | 合成杭工 | 偏心量 | 1施行箇所 に1回 〔施工後〕 | 代表箇所 各1枚 | | | 8 砂防 編 | 3 斜 面 対 策 | 9 抑 止 杭 工 | 6 | | 合成杭工 | 偏心量 | 1施行箇所 に1回 〔施工後〕 | 代表箇所 各1枚 | 8-3-9-6 |
| | | | | | | 数量 | 全数量 〔打込後〕 | | | | | | | | | | 数量 | 全数量 〔打込後〕 | | |

現行（平成25年版）

改定（平成31(2019)年版）

| | | | | | | | | |
|-----------|------------------------|----------|----|-----------|--------------|----------------------|-------------|--|
| 10 道路編 | 6 トンネル (N A T M) | 4 支保工 | 3 | 吹付工 | 岩質 | 岩質の変わる毎に1回 〔掘削中〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | 湧水状況 | 適宜 〔掘削中〕 | | |
| | | | | | 吹付面の清掃状況 | 40m毎に1回 〔清掃後〕 | | |
| | | | | | 金網の重合せ状況 | 40m毎に1回 〔2次吹付前〕 | | |
| | | | | | 吹付け厚さ(検測孔) | 40m毎に1回 〔吹付後〕 | | |
| 10 道路編 | 6 トンネル (N A T M) | 5 覆工 | 4 | 覆工コンクリート工 | 覆工 (巻立空間) | 1センチルに1回 〔型枠組立後〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | 覆工 (厚さ) | 1センチルに1回 〔型枠取外し後〕 | | |
| | | | | | 幅 高さ | 200m又は1施工箇所 〔施工後〕 | | |
| 10 道路編 | 14 道路維持 | 4 舗装工 | 5 | 切削オーバーレイ工 | 平坦性 | 1施工箇所に1回 〔施工後〕 | | |
| | | | | | タックコート | 各層毎に1回 〔散布時〕 | | |
| | | | | | 整正状況 | 400mに1回 〔施工後〕 | | |
| 10 道路編 | 14 道路維持 | 4 舗装工 | 7 | 路上再生路盤工 | 敷均厚 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | |
| | | | | | 整正状況 厚さ | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | |
| 10 道路編 | 14 道路維持 | 4 舗装工 | 11 | グレーピング工 | 施工状況 | 施工日に1回 (施工前後) | 不要 | |

| | | | | | | | | |
|-----------|------------------------|----------|----|-----------|--------------|----------------------|-------------|------------|
| 10 道路編 | 6 トンネル (N A T M) | 4 支保工 | 3 | 吹付工 | 岩質 | 岩質の変わる毎に1回 〔掘削中〕 | 代表箇所 各1枚 | 10-6-4-3 |
| | | | | | 湧水状況 | 適宜 〔掘削中〕 | | |
| | | | | | 吹付面の清掃状況 | 80mに1回 〔清掃後〕 | | |
| | | | | | 金網の重合せ状況 | 80mに1回 〔2次吹付前〕 | | |
| | | | | | 吹付け厚さ(検測孔) | 80mに1回 〔吹付後〕 | | |
| 10 道路編 | 6 トンネル (N A T M) | 5 覆工 | 3 | 覆工コンクリート工 | 覆工 (巻立空間) | 1センチルに1回 〔型枠組立後〕 | 代表箇所 各1枚 | 10-6-5-3 |
| | | | | | 覆工 (厚さ) | 1センチルに1回 〔型枠取外し後〕 | | |
| | | | | | 幅 高さ | 200m又は1施工箇所 〔施工後〕 | | |
| 10 道路編 | 14 道路維持 | 4 舗装工 | 5 | 切削オーバーレイ工 | 平坦性 | 1施工箇所に1回 〔施工後〕 | 代表箇所 各1枚 | 10-14-4-5 |
| | | | | | タックコート | 各層毎に1回 〔散布時〕 | | |
| | | | | | 整正状況 | 400mに1回 〔施工後〕 | | |
| 10 道路編 | 14 道路維持 | 4 舗装工 | 7 | 路上再生工 | 敷均厚 転圧状況 | 各層毎400mに1回 〔施工中〕 | 代表箇所 各1枚 | 10-14-4-7 |
| | | | | | 整正状況 厚さ | 各層毎400mに1回 〔整正後〕 | | |
| 10 道路編 | 14 道路維持 | 4 舗装工 | 11 | グレーピング工 | 出来ばえ | 施工日に1回 (施工前後) | 不要 | 10-14-4-11 |

現行（平成25年版）

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【その他】

| 編 | 章 | 節 | 条 | 枝番 | 工種 | 写真管理項目 | | | 摘要 |
|-----|---|---|---|----|---------------------|-----------------|--------------------------------|------|----|
| | | | | | | 撮影項目 | 撮影頻度[時期] | 整理条件 | |
| その他 | | | | | 維持修繕工関係 コンクリート舗装 | 目地掃除 | 3,000㎡に1回〔施工前後〕 | 不要 | |
| | | | | | | 目地充填 | 3,000㎡に1回〔施工後〕 | | |
| | | | | | | 注入工、削孔状況(位置、間隔) | 2,000㎡に1回〔削孔後〕 | | |
| | | | | | | 注入工、注入圧 | 2,000㎡に1回〔注入時〕 | | |
| | | | | | | 目地亀裂防止材、張付け状況 | 3,000㎡に1回〔貼付後〕 | | |
| | | | | | | 局部打ち換え、各層厚さ | 各層毎100mに1回又は1施工箇所1回〔施工前後〕 | | |
| | | | | | | 路肩、路側路盤工 | 厚さ | | |
| | | | | | 道路除草 | 出来ばえ | 5kmに1回(1回刈毎)〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 路肩整正 | 出来ばえ | 1kmに1回 | 適宜 | |
| | | | | | 新設、更新、修理防護柵類 | 出来ばえ | 1施工箇所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 新設、更新、修理標識類 | 基礎幅、深さ、出来ばえ | 基礎タイプ毎5カ所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 新設、更新、修理照明灯 | 基礎幅、深さ、出来ばえ | 基礎タイプ毎5カ所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 視線誘導標 | 出来ばえ | 施工日に1回〔施工後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 清掃(路面、標識、側溝、集水桝) | 出来ばえ | 施工日に1回〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 区画線路面表示 | 出来ばえ | 施工日に1回〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | | 材料使用量 | 全数量〔施工前後〕 | | |
| | | | | | 街路樹植樹 | 出来ばえ | 適宜〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 街路樹補強補植 | 出来ばえ | 適宜〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 街路樹剪定 | 出来ばえ | 街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 街路樹消毒、施肥 | 出来ばえ | 街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 街路樹雪囲 | 出来ばえ | 適宜〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 排雪除雪 | 施工状況、機種 | 施工中に1回〔施工中〕 | 適宜 | |
| | | | | | 凍結防止剤散布 | 出来ばえ | 施工中に1回〔施工中〕 | 適宜 | |
| | | | | | | 材料使用量 | 全数量〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 河川除草 | 出来ばえ | 1kmに1回(1回刈毎)〔施工前後〕 | 適宜 | |

改定（平成31(2019)年版）

撮影箇所一覧表(出来形管理)

【その他】

| 編 | 章 | 節 | 条 | 枝番 | 工種 | 写真管理項目 | | | 摘要 |
|-----|---|---|---|----|---------------------|-----------------|--------------------------------|------|-----|
| | | | | | | 撮影項目 | 撮影頻度[時期] | 提出頻度 | |
| その他 | | | | | 維持修繕工関係 コンクリート舗装 | 目地掃除 | 3,000㎡に1回〔施工前後〕 | 不要 | その他 |
| | | | | | | 目地充填 | 3,000㎡に1回〔施工後〕 | | |
| | | | | | | 注入工、削孔状況(位置、間隔) | 2,000㎡に1回〔削孔後〕 | | |
| | | | | | | 注入工、注入圧 | 2,000㎡に1回〔注入時〕 | | |
| | | | | | | 目地亀裂防止材、張付け状況 | 3,000㎡に1回〔張付け後〕 | | |
| | | | | | | 局部打換、各層厚さ | 各層毎100mに1回又は1施工箇所に1回〔施工前後〕 | | |
| | | | | | | 路肩、路側路盤工 | 厚さ | | |
| | | | | | 道路除草 | 出来ばえ | 5kmに1回(1回刈毎)〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 路肩整正 | 出来ばえ | 1kmに1回 | 適宜 | |
| | | | | | 新設、更新、修理防護柵類 | 出来ばえ | 1施工箇所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 新設、更新、修理標識類 | 基礎幅、深さ、出来ばえ | 基礎タイプ毎5カ所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 新設、更新、修理照明灯 | 基礎幅、深さ、出来ばえ | 基礎タイプ毎5カ所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 視線誘導標 | 出来ばえ | 施工日に1回〔施工後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 清掃(路面、標識、側溝、集水桝) | 出来ばえ | 施工日に1回〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 区画線路面表示 | 出来ばえ | 施工日に1回〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | | 材料使用量 | 全数量〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 街路樹植樹 | 出来ばえ | 適宜〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 街路樹補強補植 | 出来ばえ | 適宜〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 街路樹剪定 | 出来ばえ | 街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 街路樹消毒、施肥 | 出来ばえ | 街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 街路樹雪囲 | 出来ばえ | 適宜〔施工後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 排雪除雪 | 施工状況、機種 | 施工中に1回〔施工中〕 | 適宜 | |
| | | | | | 凍結防止剤散布 | 出来ばえ | 施工中に1回〔施工中〕 | 適宜 | |
| | | | | | | 材料使用量 | 全数量〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 河川除草 | 出来ばえ | 1kmに1回(1回刈毎)〔施工前後〕 | 適宜 | |
| | | | | | 応急処置 | 処理の状況 | その都度〔施工前後〕 | 適宜 | その他 |